

CASBEE<sup>®</sup>-ウェルネスオフィス

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-ウェルネスオフィス2021年版 ■使用評価ソフト: CASBEE-WO\_2021(v1.1)

1-1 建物概要			1-2 評価パターン						
建物名称	BIZIA KOKURA	階数	地上13F	評価対象	パターン1				
建設地	福岡県北九州市	構造	S造	1-3 外観					
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	1,000 人	<div></div> <div>ときは 解除してください</div>					
地域区分	6地域	年間使用時間	4,433 時間/年(想定値)						
建物用途	オフィス	評価の段階	設計段階(竣工後1年未満)評価						
竣工年	2024年6月 竣工	評価の実施日	2025年4月25日						
敷地面積	1,253 m <sup>2</sup>	作成者	安井大祐						
建築面積	856 m <sup>2</sup>	確認日	2025年4月30日						
延床面積	9857.93(評価対象9704.79) m <sup>2</sup>	確認者	吉澤伸記						
2-1 総合評価			2-2 大項目の評価(レーダーチャート)						
<div>Rank: <b>A</b> 70.6 /100</div> <div></div> <div>S ランク:★★★★★ &gt; 75 A ランク:★★★★ &gt;= 65 B+ランク:★★★★ &gt;= 50 B-ランク:★★★ &gt;= 40 C ランク:★★ &lt; 40</div>									
2-3 中項目の評価(バーチャート)									
基本性能									
Qw1 健康性・快適性 Score: 3.9		Qw2 利便性向上 Score= 4.0		Qw3 安全・安心性 Score= 4.2					
									
運用管理		プログラム		参考:知的生産性の視点に基づいた評価					
Qw4 運営管理 Score 2.9		Qw5 プログラム Score = 3.3							
									
3 設計上の配慮事項									
総合									
SDGs 未来都市の実現に繋がる新オフィススタンダードビル・北九州市が推進するコクラリビテーションの第一号ビルとして次の取組みを実装。①様々な働き方ができるフレキシビリティ、②SDGsに貢献する環境配慮型オフィス、③ウェルネスに配慮した計画、④ポストコロナを意識した設備									
Qw1 健康性・快適性 各階共用部に快適なリフレッシュスペースがある。運動後に着替えが可能なフィッティングルームの設置や階段の利用を促進するなど、健康を増進する取組みがある。屋上庭園を設置し、自然に触れられる環境を醸成。		Qw2 利便性向上 入居者が利用できるコワーキングスペースを配置し、打ち合わせ内容に応じた会議室や個室ブースなどの選択が可能。		Qw3 安全・安心性 建築基準法の1.25倍以上の耐震性能を有している。受水槽や受変電設備を2階に配置し、浸水対策が十分である。また、管理員を配置し、夜間は機械警備を採用。					
Qw4 運営管理 防汚性の配慮した建材や壁掛け式便器の採用など、維持管理に配慮している。		Qw5 プログラム 非接触セキュリティゲートや非接触エレベーターを採用するなど、感染症対策に配慮している。また、情報を共有するサイトを有し、フリースペースでのWi-Fi接続が可能		その他 建築物環境衛生法の基準換気量30m <sup>3</sup> /h・人の1.4倍の換気量を確保					